

2017年(平成29年)

9月1日 (金曜日)

介護の文化を創る専門紙 年間購読料 21,000円(税別)

# シルバー新報

発行所：環境新聞社 東京都新宿区四谷3-1-3(第一富澤ビル) 電話 03(3359)5371 大阪府中央区久太郎町3-1-15 電話 06(6252)5895

社会保障費6300億円増	2面
就労型介護サービス特区で	3面
ケア実践士を創設へ	5面
要介護改善はチーム力で	8面

## サ高住の立地適正化

### 厚労省 自治体の関与強化を

8月28日、国土交通省、厚生労働省は連名で、サービス付き高齢者住宅の立地の適正化に向け意見聴取の仕組みを活用するなど市町村が積極的に関与するよう通知した。地域包括ケアシステムに位置づけられる住まいとしてふさわしくない立地での計画が後を絶たないためだ。来年度以降は、地域のコミュニティに根ざしたサ高住の建設が進むよう国土交通省は補助要件の見直しも検討していく考えだ。

(関連記事2面)

国土交通省の補助制度を提供している可能性を追い風に急速に数を増やしてきたサ高住。今年7月末現在全国に約22万户ある。併設する介護サービス事業者が利用者を困り込み、過剰にサービス結果、地域によっては

えるよう建設予定の地元市町村の意見聴取を行うことを補助の要件とした。しかし、現実には、意見聴取を省略している市町村もあるという。住宅・介護の縦割りの弊害もある。

せっかくの仕組みが生かされていないため、今回、国土交通省住宅局安心居住支援課、厚生労働省老健局高齢者支援課が

### 縦割りの弊害に懸念も

厚生労働省は来年度から新たな介護職員研修として「入門的研修」を創設する。介護職員初任者研修の半分以上の研修で、未経験者や中高年など多様な人材がボランティアとして参入しやすくなるようにする。来年度予算概算要求で、保育士確保対策と合わせ40億円を計上した。地域医療・介護総合確保基金のニューとして位置付け、市町村が実施する場合は補助できるようにする。介護保険では介護予防・日常生活支援総合事業で

住民ボランティアの養成が始まっており、混乱も生じそうだ。人材確保対策として介護職の機能の明確化と役割分担を進めていくこと。一方、未経験者を含む多様な人材の参入を促して、社会保険審議会福祉部会の福祉人材確保専門委員会が議論が行われてきた。介護福祉士からチームリーダーを養成する

## 介護人材多様化へ 来年度「入門研修」創設

### 厚労省

「入門研修は介護の仕事に対する不安を払拭して参入しやすくするためのもので、(社会援護局福祉人材確保対策室)として、ステップアップも簡単にできるようにする。老健局(介護保険)の総合事業の研修とは別物と考えているという。

連名で改めて、周知したかたちだ。都道府県から働きかけも求めた。「入居者が必要とする医療・介護サービス事業所が地域にあるか」「入居者の選択・利用の自由が制限されないよう特定のサービス事業所に限定されずに済むか」などの視点で市町村が意見を述べることが可能とした。さらに、高齢者居住安定確保計画を策定する中で都道府県、市町村が独自の登録基準を設定できることも改めて紹介した。サービス付き高齢者向け住宅事業者が近隣の医療・介護サービス事業者について広く入居者に情報提供を行うとともに特定の事業所の利用に限

定しないことなどを登録基準として明確化することもできるとの考えを示した。これにより、補助金を利用しない場合にも拘束力のある指導が可能になる。地域コミュニティの中にある住まいとなるよう来年度に向けてさらに補助要件の見直しを検討する方針だ。計画が甘かったり、競争が激しくなる中、サ高住の登録廃止が増えていることから、両省は28日付で、廃止の場合も、転居先を探すなど必要に応じてきめ細かな措置を行うこと、廃止の可能性のある事業について情報提供をすることも事務連絡した。

### 遊歩道

▽「働き方改革」という言葉が居心地悪い。自分では選べない人がほとんどなのだから、「働かせ方改革」だろう。介護で最も課題を抱えるのが、訪問介護のヘルパーだ。訪問介護は資格が必須でハードルが高い。なのに、未だに「働かせ方」が、登録ヘルパー。措置時代のまま。空いている時間に働きたい「働き方」のニーズと、必要な時に働きたいという「働かせ方」のニーズがマッチしていった時代もあったのだろうが、今はどうか。安定した収入を得たい人は、施設やデイに流れる。ヘルパーの資格を持っているので、最近では高齢者住宅の併設事業所が結構な報酬を出すので、そっちに引っ込んでしまおうと、訪問介護事業所の経営者がグチっていた。結果が、施設高在住宅のいびつなサービス構造とヘルパーの超高齢化だ。政策課題にならないのが不思議だ。

## Panahome

主催：日本医療企画 共催：パナホーム

# 2018年度 医療・介護W改定対策セミナー開催

病院・診療所・介護事業所関係の方 予約制・参加無料

第1部	静岡会場	長野会場	広島会場	東京会場	大阪会場
サービス付き高齢者向け住宅 有料老人ホーム	9/2(土)	9/10(日)	9/16(土)	9/16(土)	10/7(土)
日時	13:30~16:30	午前 10:00~12:00 午後 14:00~17:00	13:30~16:30	14:00~16:30	13:30~16:30
演者	今瀬俊彦	午前：金丸隆文 午後：馬場博	馬場博	長面川さより	長面川さより
会場	静岡駅ビル「パルシェ」7階 第1会議室 (静岡駅直結)	メルパルク長野 3F「飛翔」 (JR長野駅東口から徒歩5分)	メルパルク広島 6F(安芸) (路面電車「紙屋町西電停」から徒歩1分)	新宿ファーストウエスト3F C会議室 (JR新宿駅西口から徒歩5分)	ハービスENT オフィスタワー9F 1.2.3号室 (JR大阪駅桜橋口から徒歩7分)
定員	40名	50名	50名	60名	60名

～地域包括ケア時代が求める選択肢を考える～

### 医療・介護事業の体制強化に向けて採るべき対策は？

■演者：今瀬俊彦氏 今瀬ヘルスケアコンサルティング所長 (株)ウオームハーツ代表取締役  
長面川さより氏 一般社団法人C.C.Netチーフアドバイザー  
馬場博氏 山下医科機械(株)ソリューション事業推進部 事業開発部長  
金丸隆文氏

※講演タイトルなど変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ：(株)日本医療企画 高齢者住宅セミナー担当 ☎03-3256-2885

第2部 重要課題(重度・リハ・認知症対策、人材確保等)に対する事業経営

「高齢者住宅成功事例紹介とご提案」 ■演者：パナホーム(株) 特建事業部

パナホーム株式会社 エイジフリー推進グループ

〒560-8543 大阪府豊中市新千里西町1-1-4

セミナー詳細・お申込み・最新資料請求は 右のホームページかQRコードからお気軽に!

パナホーム 医療介護 イベント 検索

[www.panahome.jp/mw/](http://www.panahome.jp/mw/)